

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8354
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉	課	高齢者福祉 係
事務事業名	老人ホーム地域交流補助事業		事業コード	11210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	元
施策名	第1施策	地域ケアサービスの充実	年度

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市老人ホーム地域交流事業補助金交付要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
特別養護老人ホーム及び養護老人ホームの地域への定着化を促進するため、ホームが地域住民を対象に行う行事及び施設機能の地域開故事業に対し補助金を交付する。 なお、平成13年度の補助金見直しを受け、14年度から補助要綱を改正し、対象施設と補助期間の限定を行い、開設から3年以内の施設という限定を設けた。(ただし、平成14年度は1年間の経過措置として、平成13年度補助実績のある事業については補助対象と見なすこととした。)		市内の特別養護老人ホーム及び養護老人ホーム 対象数 18施設	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
平成13年度老人ホーム地域交流補助事業 ・補助施設 (単発事業) 4施設 (継続事業) 2施設 ・事業内容 (単発事業) 夏祭り事業(4事業) (継続事業) 図書コーナーの開放、陶芸教室 ・補助額 540千円 (1事業90,000円を限度に事業費の3/4)		なし (5) 個別計画の概要 計画名 計画年次 年度~ 年度 なし	

4 評価指標

指標名	予算執行率	交流事業実施率
指標式	補助実績額 / 予算額 × 100	交流事業実施施設 / 対象施設
指標設定の意図		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	55.5	50.0	a 50.0	b 100	100
指標	46.6	33.3	c 33.3	d 66.6	100
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	599	540	1,080	450
	人員・時間数	(80h)	(60h)	(80h)	(60h)
	人件費	334	250	250	334
	その他経費				
	合計	933	790	1,414	700
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか														
評価 C ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 50.0%												
	B:一部達成していない(100%> 80%)													
	C:達成していない (80%>)													
a	50.0	b	100.0	×100= 50.0%	c	33.3	d	66.6	×100= 50.0%	e		f		×100=
理由:	評価はCであるが、既に地域に定着し様々な形で交流が行われている。													

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A:適応している	理由:	地域と隔絶された「施設」という固定的な観念を払拭していくためにも、新設施設に対しては地域交流は推進すべきである。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A:妥当である	理由:	小額の補助ではあるが、施設における事業実施の動機付けや促進には有効であるとする。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由:	市単独補助事業であるため。なお、行政による一定期間(3ヵ年)の補助の後、施設の自主的な取組みを促している。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A:満足できる	理由:	要綱改正による時限性の導入をしたため、既存の補助事業実施施設からは継続補助の要望があった。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	「地域に開かれた施設」を推進する上で当該事業は有効と考える。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 対象施設の限定を行ったため。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 平成14年度の補助要綱の改正実施済みのため。</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較		不明
	今後の進め方		<p>説明</p> <p>今後、新たに設置される特別養護老人ホーム等が、地域へ定着し、地域住民と交流を進め連携を図ることは、施設運営にとっても有効であり、今後も促進する必要がある。</p> <p>また、改正により時限性を盛り込み3年間の補助期間の後には、施設の自主的努力を促すため、今後も大きな財政負担は伴わず継続することが可能である。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--